

2022年4月5日

報道関係各位

GMO メイクショップ株式会社

「MakeShop byGMO」と「WorldShopping BIZ」がAPI連携を開始、 国内販売と同じオペレーションで海外販売を実現 ～言語・物流・決済の壁をクリアし、ウェブインバウンドによる販路拡大を支援～

GMO インターネットグループの GMO メイクショップ株式会社（代表取締役社長：向畑 憲良 以下、GMO メイクショップ）が運営するネットショップ構築 ASP サービス「MakeShop byGMO」（URL：<https://www.makeshop.jp/>）は、2022年4月1日（金）より、株式会社ジグザグ（代表取締役：仲里一義、以下 ジグザグ）が運営する「WorldShopping BIZ」とサービス連携いたしました。

これにより、「MakeShop byGMO」をご利用の EC 事業者は、「MakeShop byGMO」の管理画面から申し込むだけで、簡単に越境 EC を始めることができます。購入代行の仕組みをとる「WorldShopping BIZ」を利用することで、事業者自らが海外対応する必要なく、手軽にウェブインバウンド獲得による販路の拡大を目指すことができるようになります。

国内販売と同じオペレーションで海外販売を実現！

MakeShop[®] byGMO × WorldShoppingBIZ

4/1(金)より「WorldShopping BIZ」とサービス連携

【サービス連携の背景】

GMO メイクショップは、低コストで本格的なネットショップを構築できる ASP サービス「MakeShop byGMO」を 2004 年に提供開始いたしました。EC 事業の成功を支援するため、ショップ運営者の売上の総和である流通額を最重要指標として機能強化やサポート体制の強化、連携サービスの拡充などを進めてきた結果、2012 年以降 10 年連続で年間流通額業界 No.1^(※1) を獲得しています。

一方ジグザグは、日本のいいものを 228 の国と地域に住むユーザーへ届けるウェブインバウンド・越境 EC 支援サービス「WorldShopping BIZ」を提供しています。多言語対応・海外決済・海外発送までを一気通貫で行い、EC 事業者のもっと簡単・もっと安全な海外販売の実現をサポートしています。

2020 年以降、新型コロナウイルス感染拡大防止のための入国制限の影響によりインバウンド消費が減少する中で、越境 EC 化によるウェブインバウンドへの関心が高まってきました。「MakeShop byGMO」でも越境 EC のご相談をいただく機会が増えておりましたが、越境 EC を本格的に運営するのはハードルが高く、サイトの翻訳や問い合わせ対応時の「言語の課題」、海外発送用の梱包・保証の対応に加えインボイス作成の手間といった「物流の課題」、海外決済への対応とそれによる不正決済のリスクといった「

決済の課題」など、事業者の負担が大きいという課題があります。これらの課題を解決し、より手軽に越境 EC を始められる環境を整備するため、GMO メイクショップは、2022 年 3 月にジグザグと資本業務提携を行ない、「MakeShop byGMO」と「WorldShopping BIZ」の API 連携を進めてきました。

このたび、両サービスの連携が開始されたことにより、日本国内で運営している EC サイトを簡単に海外対応することができ、シームレスな海外販売を実現します。

(※1) ネットショップ ASP サービス運営企業各社の発表数値より比較（自社調べ 2022 年 3 月時点）。

【サービス連携の概要】

購入代行の仕組みをとる「WorldShopping BIZ」を利用することで、「MakeShop byGMO」をご利用の EC 事業者は、直接海外対応することなく手軽に越境 EC を始めることができます。「WorldShopping BIZ」を導入した EC サイトを海外ユーザーが訪問した場合、多言語入力フォームが表示され、「WorldShopping BIZ」側で決済が完了します。カスタマーサポートや海外発送も「WorldShopping BIZ」が対応するため、EC 事業者側では国内の倉庫へ商品を発送するだけで対応が完了し、インボイスの作成も不要です。販売手数料は無料、海外送料は購入した海外ユーザーの負担となるため、国内での EC サイト運営費以外に追加費用負担は無く、コスト面の心配をする必要もありません。

「WorldShopping BIZ」を導入するには、通常 EC サイトに JavaScript タグを追加して設定する必要がありますが、「MakeShop byGMO」はサービス連携しているため、お申し込みいただければ自動で設定が完了いたします。



<サービス概要>

対 象	「MakeShop byGMO」をご利用の EC 事業者
ご 利 用 料 金 (※2)	販売手数料：無料 海外送料：無料
お申し込み方 法	「MakeShop byGMO」の管理画面内、【集客サービス】のメニューに表示されている「海外販売」の『連携する』ボタンからお申し込みください。 「MakeShop byGMO」のご契約がまだの方は、下記の URL から無料体験をお申し込みの上、本契約にお進みください。本契約後に「海外販売」のお申し込みが可能となります。
無料体験 URL	https://www.makeshop.jp/main/registform/regist.html?utm_source=makeshop.co.jp&utm_medium=referral&utm_campaign=20220405

(※2) 別途、「MakeShop byGMO」のご利用料金が必要となります。

【GMO メイクショップ株式会社について】

GMO メイクショップは、「Commerce for a better future./商取引でより良い未来に」をミッションに掲げ、ネットショップ構築 ASP「MakeShop byGMO」を中核とした EC 構築支援や、EC マーケティング支援、EC 運用受託サービスを展開しています。

「MakeShop byGMO」は、2021 年には年間流通額が 2,749 億円に達し、10 年連続で業界 No.1 を獲得しました。また、主軸となる『プレミアムショッププラン』とカスタマイズ対応 EC ソリューション「GMO クラウド EC」の『MakeShop エンタープライズプラン』を合わせた導入店舗数は、2021 年 12 月末時点で 11,000 件以上となっています。

今後も GMO メイクショップは、広範な EC 領域において、店舗様が抱える様々な課題を解決できるよう、サービスの強化を図り、国内の EC 市場の活性化に貢献してまいります。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO メイクショップ株式会社
管理本部 広報担当 戸恒
TEL : 03-5728-6227 E-mail : pr@ml.makeshop.jp
- GMO インターネット株式会社
グループコミュニケーション部 広報担当 新野
TEL : 03-5456-2695 E-mail : pr@gmo.jp

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO メイクショップ株式会社
集客サービスお問い合わせ窓口
E-mail : info@itempost.jp

【GMO メイクショップ株式会社】 (URL : <https://www.makeshop.co.jp/>)

会 社 名	GMO メイクショップ株式会社
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 向畑 憲良
事 業 内 容	■プラットフォーム事業 (EC 構築支援・EC マーケティング支援・EC 運用受託) ■システムインテグレーション事業
資 本 金	5,000 万円

【GMO インターネット株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMO インターネット株式会社 (東証プライム 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2022 GMO MAKESHOP Co. Ltd. All Rights Reserved.